令和６年度

学校関係者評価報告書

令和７年６月２０日

学校法人　向洋学園

宮崎ビジネス公務員専門学校

令和６年度　学校法人　向洋学園　学校関係者評価報告書

学校法人向洋学園は、当学園の教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について自己評価を実施し、「令和６年度　学校自己評価報告書」を取りまとめ、宮崎ビジネス公務員専門学校に公表致しました。

また、この度、学校関係者評価委員会を設置し、当学園に関連する企業・業界の方々や教育関係者の皆様より当学園の学校教育及び学校運営に対し、幅広くかつ的確なご意見、ご指導を賜りました。頂戴いたしましたご意見等につきましては「令和６年度　学校関係者評価報告書」としてご報告させて頂きます。

今後は、委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を真摯に受け止め、大いなる気づきとし、当学園のより社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質の保証及び向上を目指し、教職員一同邁進して参る所存でございます。

関係者の皆様には、今後とも尚一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和７年６月２０日
学校法人　向洋学園
理事長　　井手脇　康智

宮崎ビジネス公務員専門学校　学校理念・校訓・教育目標

１．　学校理念

入学者一人ひとりが持つ夢を
専門知識と情熱をもって共に実現し
自ら積極的に考え社会貢献できる学生を育成する

２．　宮崎ビジネス公務員専門学校校訓

誠　実　・　勤　勉　・　奉　仕

３．　学校の教育目標

１．　学生の夢を具現化するため、教育に携わる教職員一同は常に精進に努め、学校はその為の研修等を計画的に行う。
２．　学生に社会的視野を獲得させるため、関連業界との連携を深めながら、定期的に学生の知見を深める教育プログラムを実践する。
３．　プロフェッショナルとしての心を育成する為、キャリア教育の充実を図る。
４．　豊かな人間性の構築を目指し、校外での実践的な体験の場を設ける。

４．　本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

１．学生の個性を尊重した学習方法を研究し、お互いを高め合う学習の場を学生に提供する。
２．学生たちが自己の明確な将来像を描き、目標を達成するまで向上心を持ち続け、安心して主体的な学びに取り組める教育環境を築く。
３．地域で承認される学校、学生となるよう、自ら積極的に行動し社会に貢献していくための情報提供や実践の機会をつくる。

５．学校関係者評価委員一覧表

	評 価 委 員	所　　属
1	橋本　崇	教育に関する有識者 （宮崎大学教育文化学部附属小学校元ＰＴＡ会長） 地元企業関係者（有限会社橋本商会）
2	尾崎　世吉	保護者 地元企業関係者（合資会社尾崎商店）
3	小原　健二朗	卒業生 地方公務員（都城市消防局）
4	明利　和代	宮崎ビジネス公務員専門学校　校長
5	矢野　三千宏	宮崎ビジネス公務員専門学校　校長代理
6	福重　健一朗	宮崎ビジネス公務員専門学校　副校長

（敬称略）

６．討議・意見交換について

1	大項目	教育理念、教育目的、人材育成像
	中項目	教育理念、教育目的、人材育成像
	◇特に指摘なし	
2	大項目	学校運営
	中項目	諸規定の制定、学則・細則・内規等の整備、防犯対策、個人情報の保護、意思決定機関
	◇特に指摘なし	
3	大項目	教育活動
	中項目	理念・目的・人材像を反映したカリキュラム、カリキュラムの定期的見直し、キャリア教育、授業アンケート、授業計画、成績評価・単位認定、資格試験、教職員
	◇特に指摘なし	
4	大項目	学修成果
	中項目	就職率・推移、資格取得率・推移、退学率の低減
	・委員からの質問「特定の職種の合格者数が突出している理由」→（職員より）試験日程が重ならない場合は、原則全員受験としている職種もある。申込時は希望していなくても、合格後に関心が高まり採用まで行くケースもある。多くの試験を受けることで、採用の可能性も高まるため、受験情報をこまめに伝えていく。	
5	大項目	学生支援
	中項目	進路・就職への支援、学生相談への支援、学生への経済的支援、保護者との適切な連携、卒業生への支援体制
	◇特に指摘なし	
6	大項目	教育環境
	中項目	教育施設・設備、学内外の実習・インターンシップ、危機管理
	・ＩＴ機器などが教育上の必要性に充分対応できているかについて、この１年間で環境改善を大幅に行ったことで、評価が向上したことを報告。今後もトラブルなく安心して活用できるようさらに対応していくことを説明した。 ・通信機器が使用不能になったときのために、事前に避難場所等を保護者に伝えておくだけではなく、市外に住む保護者のためにも学校近辺の地図なども渡しておく必要があるのではという意見が出された。また、「危機管理マニュアル」は消防局の予防課の点検を受けると、専門的な視点からの指摘が得られるとのご意見もいただいた。自然災害だけでなく、その他の危機状況についても、様々な専門家からのご意見を参考にしながらさらに意識を高めていくことを説明した。	

7	大項目	学生募集
	中項目	学生募集活動の適正性、教育成果の伝達、入学選考、学納金
	・広報について YouTube 広告なども活用したが大きな成果はなかったことを説明。委員からは、高校に行った時には、貼ってあるものを見ながら校舎内を歩くためポスターの方が効果的ではないかとの意見をいただいた。合格状況やイベント案内などこれまで以上にこまめに更新を行い、校舎前掲示板や公共施設などのラックの活用を充実させていく。	
8	大項目	社会貢献、地域貢献
	中項目	社会貢献、公開授業・出張講座、ボランティア活動
	・ボランティア実習の第 1 期生達が卒業年度を迎え、就職活動に成果が表れていることおよび内定先等の報告を行った。	
9	大項目	財務
	中項目	財務状況、監査、財務状況の情報公開
	◇特に指摘なし	
10	大項目	法令等の遵守
	中項目	法令遵守の状況、適切な学校評価への取り組み
	◇特に指摘なし	
その他	◇特に指摘なし	